

# いわき地域の概要

2021年8月発行版

# いわき地方振興局

## ◆商業－年間商品販売額（H28）－

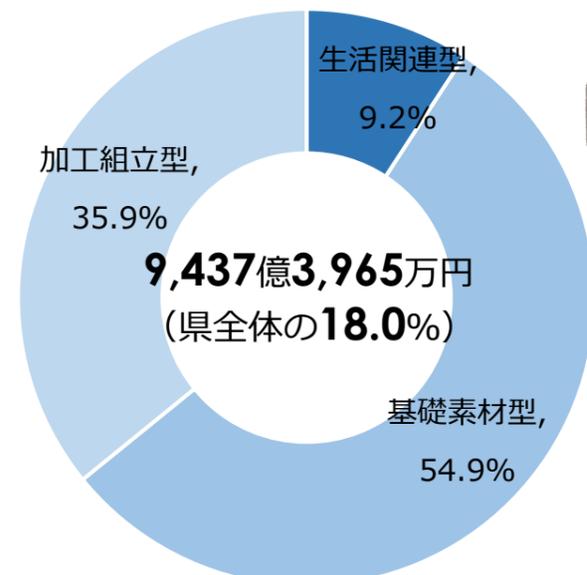
8,698億円（県全体の18.8%）

卸売業：4,631億円  
小売業：4,067億円

※県統計課「平成28年経済センサス（卸売業、小売業）」より

中でも卸売業販売額では石油・鉱物卸売業の割合（14.4%）が県全体のその割合（6.7%）の倍以上と特徴的。

## ◆工業－製造品出荷額（H30）－



※県統計課「2019年工業統計調査報告書」より作成

製造品出荷額は東北1位の工業都市！  
港湾機能をいかした化学工業等の基礎素材型産業が盛ん

生活関連型：（産業中分類）食料、飲料、繊維、家具、印刷、皮革、その他  
基礎素材型：（産業中分類）木材、紙、化学、石油、プラスチック、ゴム、窯業、鉄鋼、非鉄、金属  
加工組立型：（産業中分類）はん用機械、生産機械、業務用機械、電子・電気・情報機械器具、輸送

## ◆観光－観光客入込数（R2）

4,287,735人

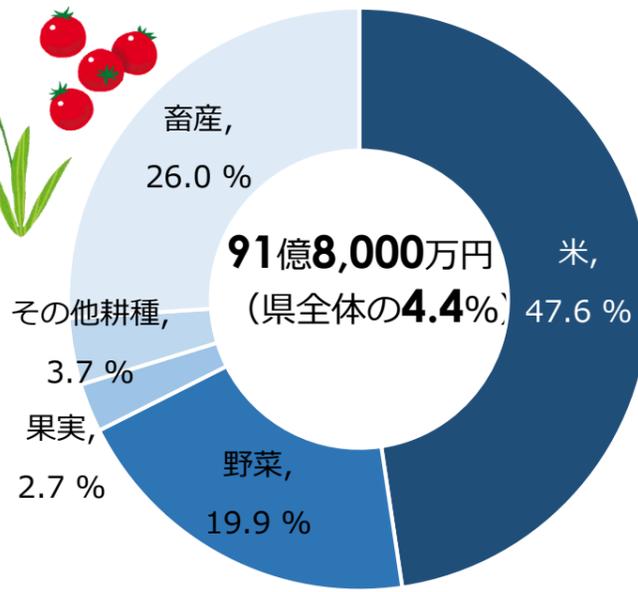
※R1：7,555,942人（県全体の13.4%）  
R1年度は台風、R2年度はコロナウイルスの影響で観光客入込数が伸び悩んだ。依然として震災前の水準には達していない。

【主な観光地別観光客入込数】

行楽地	R1年 入込数（人）	R2年 入込数（人）
いわき・ら・ら・ミュウ	1,474,900	974,700
夏井川溪谷	73,566	40,755
新舞子海岸	264,402	153,203
温泉	1,639,092	602,211
いわき湯本	290,731	234,079
海水浴	27,167	0
四倉	22,540	0
行事	613,700	0

※いわき市観光交流課「令和2年内観光交流人口」より作成

## ◆農業－農業産出額（R1）－



※農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」より作成

米は、「Iwaki Laiki」（いわきライキ）のブランドで販売。  
温暖かつ長い日照時間をいかしたトマト・いちご等の施設園芸や日本なし栽培が盛ん。

## ◆林業－林業生産額（H29）－

17億3,000万円（県全体の24.9%）

素材と生しいたけの生産量は県内1位！

【主要林産物生産実績（H30,R1）】

林産物	年区分	生産量	対県構成比
素材（千m <sup>3</sup> ）	H30	234	24.6%
製材品生産量（千m <sup>3</sup> ）	H30	113	29.8%
木炭（kg）	R1	2,850	2.0%
生しいたけ（t）	R1	1,346	47.2%
なめこ（t）	R1	282	18.1%

※県農林水産部「令和2年 福島県森林・林業統計書（令和元年度）」「令和元年木材需給と木材工業の現況」より作成

## ◆水産業－漁業生産量（R2）－

約8,886トン（県全体の71.1%）

※「福島県海面漁業漁獲高統計」より

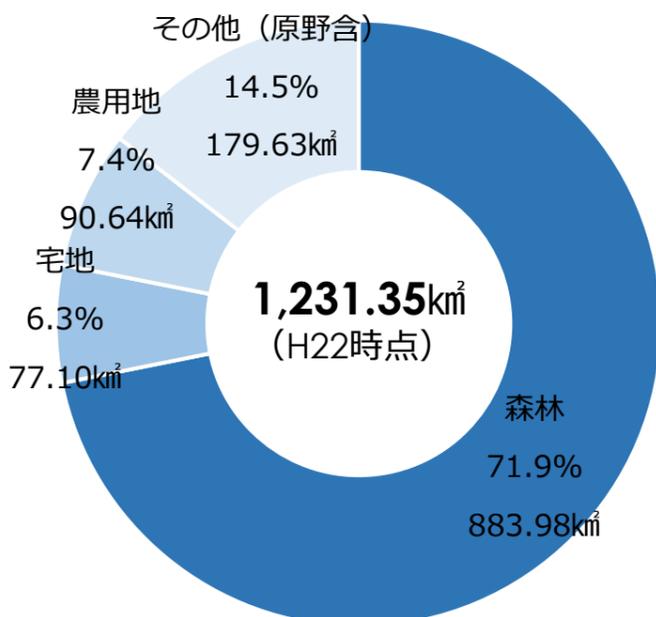
魚種別にみると「いわし類、さば類、かつお・まぐろ類」が大きな割合を占める。  
海産魚介類の放射性物質はほとんど不検出。試験操業は令和3年3月31日で終了。  
⇒4月からは本格操業に向けた移行期間に。

## ◆面積及び土地利用状況（R3・H22）

1,232.26km<sup>2</sup>（R3時点）

福島県内1位

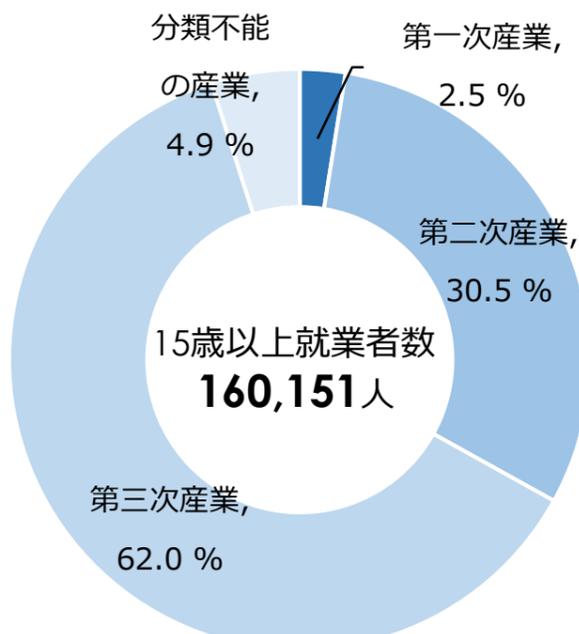
※国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村面積調」（R3.1.1調査）



※福島県国土利用計画（第5次）より作成

森林、宅地の割合が他地域と比較しても高く、農用地の割合が低いのがいわき地域の特徴。まさに海・街・山の多様な顔を持つ地域！

## ◆就業構造（H27）



※いわき市国政調査報告（人口・世帯・労働・住宅編）H30.3発行より作成

## ◆人口（R2）

333,202人

福島県内1位  
東北では仙台市に次ぐ規模  
※令和2年国勢調査速報

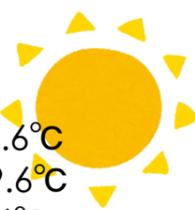


## ◆人口密度（R2）

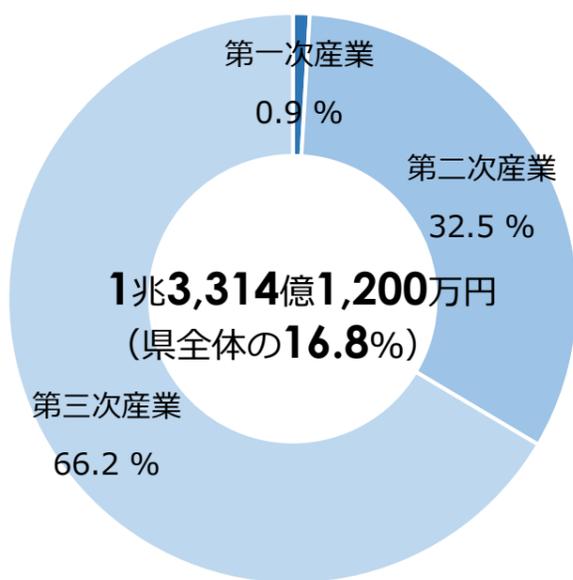
いわき市 270.4人/km<sup>2</sup>  
※福島市 368.4人/km<sup>2</sup>

## ◆気候

年平均気温：14.6℃  
8月平均最高気温：29.6℃  
12月平均最低気温：1.6℃  
年間降水量：1384.5mm  
年間日照時間：2031.6時間  
海洋性の温暖な気候で過ごしやすい！  
※気象庁HP2020年各種データより



## ◆市町村内総生産（H30）



※県統計課「福島県市町村経済計算年報平成30年度版」より作成

### 【経済活動における特化係数】

水産業：5.11 林業：1.42  
構成比で見ると第一次産業の割合が極めて低く感じるが、経済活動別構成比を県平均と比較すると、上記より水産業と林業に特化していることがわかる